

## シラバス(保健体育科)【ホームページ・ガイダンス用】

科目名	体育	学年	1	使用教材	教科書	なし
		必修修の別 (必・選必・コース選)	必修		副教材	なし
学科	全学科	単位数	2			
系統科目						

### 【学習目標】

- 体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を  
 ○ 一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成する

### 【学習方法のポイント】

- 体づくり運動・・・体ほぐしの運動、体力を高める運動、新体力テスト  
 ○ 陸上競技・・・競争、跳躍、投てき、持久走 ○(3) 水泳・・・クロール、平泳ぎ、背泳ぎ、バタフライ  
 ○ 球技・・・バレーボール、バドミントン、卓球、サッカー ○ 武道(空手道) ダンス(創作ダンス 琉球舞踊)  
 ○ 体育理論・・・社会の変化とスポーツ、運動技能の構造と運動の学び方、体ほぐしの意義と体力の高め方

### 【学習評価と観点】

- 次の3つの観点に基づき、単元のまとめごとに下記のように評価を行い、学年末に5段階の評定に総括します。

①知識及び技能	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身につけるようにする。																											
②思考力、判断力、表現力	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し、判断するとともに、自己の仲間の考えことを他者に伝える力を養う。																											
③学びに向かう力、人間性等	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にするなど意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。																											
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="font-size: small;">評価方法／観点</td> <td style="text-align: center;">①</td> <td style="text-align: center;">②</td> <td style="text-align: center;">③</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="font-size: small;">学習状況観察</td> <td style="text-align: center;">◎</td> <td style="text-align: center;">◎</td> <td style="text-align: center;">◎</td> <td rowspan="5" style="font-size: small;">                     A:「十分に満足できる」状況                      B:「おおむね満足できる」状況                      C:「努力を要する」状況                       観点別の成績における配分は                      ①:②:③=1:1:1とする。                 </td> </tr> <tr> <td style="font-size: small;">個人カード・グループノート</td> <td style="text-align: center;">◎</td> <td style="text-align: center;">◎</td> <td style="text-align: center;">◎</td> </tr> <tr> <td style="font-size: small;">課題レポート等</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="font-size: small;">技能テスト等</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">◎</td> </tr> <tr> <td style="font-size: small;">定期考査</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> </table>	評価方法／観点	①	②	③		学習状況観察	◎	◎	◎	A:「十分に満足できる」状況 B:「おおむね満足できる」状況 C:「努力を要する」状況  観点別の成績における配分は ①:②:③=1:1:1とする。	個人カード・グループノート	◎	◎	◎	課題レポート等	○		○	技能テスト等	—	—	◎	定期考査	—	—	—	
評価方法／観点	①	②	③																									
学習状況観察	◎	◎	◎	A:「十分に満足できる」状況 B:「おおむね満足できる」状況 C:「努力を要する」状況  観点別の成績における配分は ①:②:③=1:1:1とする。																								
個人カード・グループノート	◎	◎	◎																									
課題レポート等	○		○																									
技能テスト等	—	—	◎																									
定期考査	—	—	—																									

※表中の◎は観点の中でより重視するところです。

- 学習の記録簿を活用することで、自らの学習状況をチェックし、目標達成に努めましょう。

### 【定期テスト範囲(目安)】※追加・変更することもある。

		教科書(単元)	備考
学期	1学期	中間	なし
		期末	なし
	2学期	中間	なし
		期末	なし
	3学期	学年末	なし

### 【学習サポート】

- ○  
○